

術前薬物療法を施行した HER2 陽性乳癌に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間： 2023 年 8 月 7 日 ～ 2024 年 12 月 31 日

〔研究課題〕

術前薬物療法を施行した HER2 陽性原発性乳癌の観察研究

〔研究目的〕

HER2 陽性乳癌の治療では、術前薬物療法の治療効果を指標にして術後薬物療法を選択する「レスポンスガイド治療」の有効性が示されています。これにより、術前治療の効果があつた場合は、副作用の強い化学療法（アンストラサイクリン）の投与を省略することが試みられています。しかし、どのような患者さんで、どの程度治療効果があつた場合にアンストラサイクリンを省略できるかについては確立されたデータはありません。そこでこの研究では、術前薬物療法を行った HER2 陽性乳癌の患者さんの治療経過を観察し、薬物療法の効果や副作用と予後を検証します。

〔研究意義〕

術前薬物療法の治療効果をもとに、患者さんごとに適切な術後薬物療法が選択できれば、HER2 陽性乳癌の患者さんに対する個別化治療が可能となり、副作用の軽減と予後改善が期待できます。

〔対象・研究方法〕

2007 年 1 月から 2022 年 12 月までの期間に術前薬物療法を行った HER2 陽性乳癌の患者さんを対象とします。診療録（臨床データ、画像データ、病理組織所見等）を参照しデータを解析します。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部 外科学講座

〔個人情報の取り扱い〕

個人情報に十分配慮し、匿名化を行います。対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：氏名 松本暁子 職名 帝京大学医学部 外科学講座 助教
所属： 帝京大学医学部 外科学講座／帝京大学医学部附属病院 外科
住所： 東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL:03-3964-1231(代表)